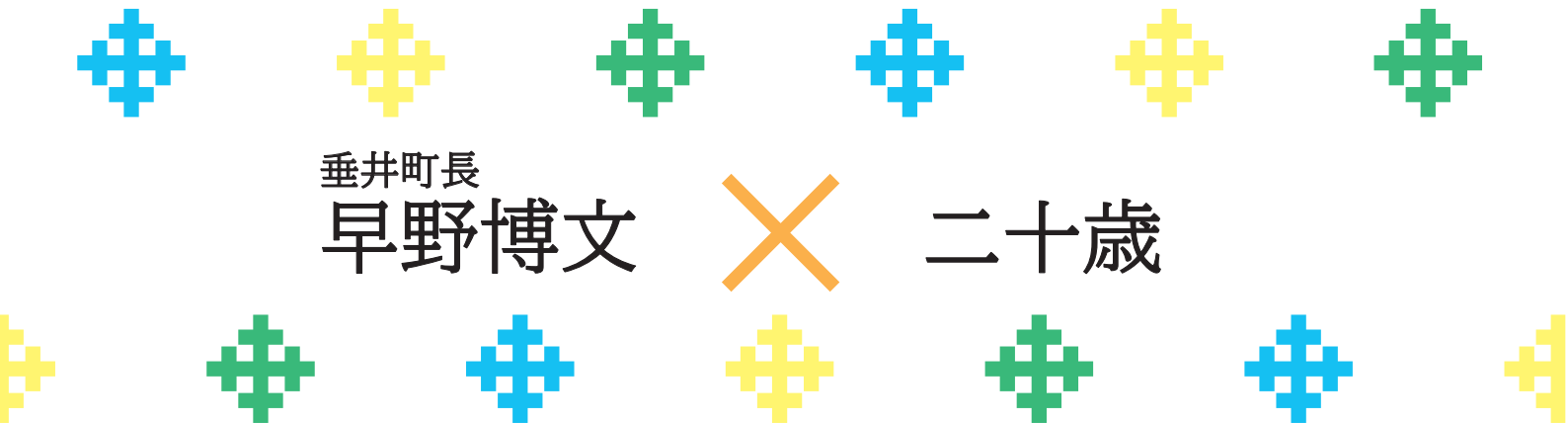




新春企画2023 「たるい未来トーク」



垂井町長 早野博文 × 二十歳

今年度二十歳を迎える14人のみなさんと、町長との対談が実現。
未来を担うみなさんに、自身や今後の垂井町について語っていただきました。

るなことに挑戦していきたいです。



鮎川ゆずさん
二十歳になると、大人になった実感があると思っただけですが、まだ大きな変化はありません。これからのいろいろなことを経験して「二十歳になった」という実感が湧いてくるのかなと思います。今まで以上にいろいろなことに挑戦していきたいです。

きたいです。
そしてなにより、コロナ禍で人を集めることが難しいなか「二十歳を祝う会」を開催していただけることに対して感謝の気持ちでいます。



横山拓海さん
これまで育ててくれた両親や自分に関わってくれた人たちに感謝したいです。また、今後の自分に期待し、夢に向かって努力していきたいです。

町長…みなさんあけておめでとうございます。本日は今年度二十歳を迎えるみなさんとぎっくばらんにお話しできればと思います。よろしくお祈りします。

二十歳を迎えて今、どんな気持ち？



十八歳 人がなり
まじたり
二十歳が子
どもと大人の境目だと感じています。私は既に社会人となりまして、周りから子ども扱いされたり、やらせてもらえない仕事があるなど悔しい思いをすることがあります。

二十歳になって、もう自費のスキルを磨きたいという自費が芽生えましたし、お世話になった人たちに恩返ししたいと思っています。



貞光逸哉さん

まじたり
二十歳が子
どもと大人の境目だと感じています。

人生を振り返り、改めて感謝したい人は？

興味関心を持ってさまざまなことにトライして欲しいです。

河村唯人さん
これからは両親に感謝しすぎず、親孝行して感謝の気持ちを伝えていきたいです。

小竹未結さん
中学でお世話になった人で、生き方を教わり自身にも影響を与えてくれた人がいます。時が経ち、今はなかなか会うことができませんが、その人にとっても感謝しています。

これからは両親に感謝しすぎず、親孝行して感謝の気持ちを伝えていきたいです。また、これまで20年間、垂井町で生まれ育ち、とても楽しかったし良い時間を過ごすことができてきました。ふるさと垂井町にも感謝しています。



小竹未結さん

中学でお世話になった人で、生き方を教わり自身にも影響を与えてくれた人がいます。

町長 みなさんの感謝の気持ちが伝わってきました。現在ウクライナなど世界では大変な状況の人たちもいます。日本もいつ巻き込まれるかわかりませんが、みなさんにも大きく影響します。海外の情報にも

今年度二十歳になる人が279人、令和3年度の出生数が132人。直面する人口減少に対して考えることは？

三島はるさん
原因は、ゲームやスマートフォンなど、便利なものが普及し、昔に比べて一人でも生きていける環境になり、小さい頃から一人で過ごす習慣の子どもたちが増えたからだと思います。

私は大学で仮想現実について学んでいますが、いずれ現実の世界がもう一つできるのではという話を聞いたことがあります。

小さい頃から人との交流を日常的に築くことができる仕組みを作ることが人口減少対策につながると思います。

町長 今の時代、子どもたちはタブレットを持って学習しています。これからはデジタル教科書も導入するなど、みなさんの小・中学生の頃と随分変わりました。

おっしゃるとおり人と人との交流が希薄化していますが、垂井町では各地区の人たちが工夫しながらお祭りや運動会など、今も継続しています。そのような姿もぜひ知って欲しいです。



三島はるさん

原因は、ゲームやスマートフォンなど、便利なものが普及し、昔に比べて一人でも生きていける環境になり、小さい頃から一人で過ごす習慣の子どもたちが増えたからだと思います。

町長 現在は出会いの手段として婚活アプリが一つの主なツールになってきましたが、当時は仲人がいて、お見合いや恋愛に発展するという流れがありました。コロナ禍で婚活式を延期するなど大変だったと思いますが、結婚に憧れがあることは素晴らしいと思います。みなさんにはぜひ良い出会いをして欲しいです。

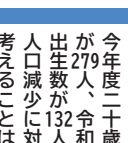
子育てしやすいまちは自然と人も集まってくると思います。子どもは田舎だと思っていましが、JRの駅もあって各地へのアクセスも良く、自然も豊か。子どもが遊べる公園も作りやすいと思うので、町の特性を活かして支援して欲しいです。

町長 現在は出会いの手段として婚活アプリが一つの主なツールになってきましたが、当時は仲人がいて、お見合いや恋愛に発展するという流れがありました。コロナ禍で婚活式を延期するなど大変だったと思いますが、結婚に憧れがあることは素晴らしいと思います。みなさんにはぜひ良い出会いをして欲しいです。

「住みよきこ」については、某ハウスメーカーの調べによると、県内42市町村の住み心地ランキングで垂井町は第9位でした。上位ではありますが、もっと上位を目指さないといけないと感じています。

垂井町に「住み続けたい」「戻ってきたらいい」と思ってもらったには、

小坂音楽さん
井町から出て行きたいと思っていたけど、お祭りの歴史があるので、それらを盛り上げて



三島はるさん

原因は、ゲームやスマートフォンなど、便利なものが普及し、昔に比べて一人でも生きていける環境になり、小さい頃から一人で過ごす習慣の子どもたちが増えたからだと思います。

谷口貴大さん
育てられると思いは、お金のかかるという

小林央歩さん
結婚したい。しかし、男としても、バリバリ働く風潮に変わったことから出会いが減り、早く結婚することも難しくなったと思います。出会いがある場所をどのように作っていくかが課題だと思います。

高木駿佑さん
結婚願望がある。早寝早起きでアルバイトをしながら、結婚式を準備する人を見ることがあります。

町長 高校生までの医療費の無償に加えて、令和2年から給食費を無償にしています。一月あたり1,000万円ほどかかっていますが、人口が減ると税収も減ります。当時は人口が増え、努力しなくても税収が増えた時期があり、おかげで公共施設も増えました。しかし現在は、人口、税収が減るとともに建てた施設の老朽化など問題も山積んでいます。その問題を解決するべく、みなさんの意見を町政に取り入れていきたいと思っています。



藤田海斗さん

現在、垂井町では高校生まで医療費が無償ですが、そのうちた支援を充実させることで子どもを育てやすいまちなり、小さい頃に人口減少は改善していくと思います。

町長 高校生までの医療費の無償に加えて、令和2年から給食費を無償にしています。一月あたり1,000万円ほどかかっていますが、人口が減ると税収も減ります。当時は人口が増え、努力しなくても税収が増えた時期があり、おかげで公共施設も増えました。しかし現在は、人口、税収が減るとともに建てた施設の老朽化など問題も山積んでいます。その問題を解決するべく、みなさんの意見を町政に取り入れていきたいと思っています。

山田夏歩さん
母と子どもに接することが多いですが、

佐々木隆人さん
非常会が非常に重要だと思っています。学生の視点からすると、どれだけ個人の格差をなくすかが重要だと思っています。家で勉強する環境がない人、学習塾にいけない人に対する支援、部活動への満足にできない人たちの支援が大切だと思います。行政に支援してもらおうと、郷土愛も高まるといいます。

私 は今、看護士の勉強中。母と子どもに接することが多いですが、

人口減少・少子化の要因で、ある未婚化や晩婚化に対してみなさんの結婚観とは？

個人 結婚したい。しかし、男としても、バリバリ働く風潮に変わったことから出会いが減り、早く結婚することも難しくなったと思います。出会いがある場所をどのように作っていくかが課題だと思います。



小林央歩さん

結婚したい。しかし、男としても、バリバリ働く風潮に変わったことから出会いが減り、早く結婚することも難しくなったと思います。



高木駿佑さん

結婚願望がある。早寝早起きでアルバイトをしながら、結婚式を準備する人を見ることがあります。

町長 高校生までの医療費の無償に加えて、令和2年から給食費を無償にしています。一月あたり1,000万円ほどかかっていますが、人口が減ると税収も減ります。当時は人口が増え、努力しなくても税収が増えた時期があり、おかげで公共施設も増えました。しかし現在は、人口、税収が減るとともに建てた施設の老朽化など問題も山積んでいます。その問題を解決するべく、みなさんの意見を町政に取り入れていきたいと思っています。

小竹若菜さん
特に医療に教育の支援が大切だと思っています。私は他県の大学に通っているため、他県の人と関わる機会が多いです。その人たちの話を聞くことで、学費の支援をしてもらえる自治体もあると聞きました。支援内容も大切ですが、他の地域の人に自慢できることが増える、垂井町に戻ってきます。と思う人が増えると思っています。

町長 いただいた意見を実現するために、周りの理解も必要です。ぜひ「政治」という分野にも関心を持ち、誰がどういふ考えを持つのかを知りたいです。本日はありがとうございました。みなさん、本日はありがとうございました。